

～障害者の「働き方改革」～

障害者の在宅雇用に向けた支援を始めます

安城市では障害者の一般就労を支援し、就労を通じて社会とのつながりを持ち、地域や仲間からありがとうと認められ、自身の願いをかなえることができる「障害者のケンサチ生活」の実現を目指しています。そこで、今年度からハローワーク刈谷及び障害者雇用に関するシステム提供や各種コーディネート業務を行う企業と連携し、テレワークによる就労支援を進めていきます。

テレワークとは

情報通信技術を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方のことで、「tele=離れた所」と「work=働く」をあわせた造語です。国が進める働き方改革においても、様々な観点からテレワークを推進していくこととされています。



市内企業の障害者雇用の現状

障害者の職業生活における自立を促進することを目的とした「障害者雇用促進法」において、民間企業は2.2%の法定雇用率を達成することが求められています。しかし、市内民間企業における法定雇用率は2.01%（令和元年6月1日現在）で、法で定めた水準に達していません。

障害者×テレワーク=大きな可能性

これまでの障害者雇用では、障害者が企業に通勤して行う形が基本でした。こうした状況では、通勤が困難な人は就労することを諦めてしまうかもしれません。そこで、「テレワークによる就労」を推進することで、働くことを諦めていた障害者が働くことができるようになり、様々な選択肢の中から、自分に合った働き方を選ぶことができるようになります。また、企業にとっても障害者がテレワークで就労することで、人口減少・少子高齢化による人手不足を解消するための良い手段になるかもしれません。

このようにテレワークは、障害者・地域の企業、両方にとって大きな可能性を秘めた取り組みです。

連携協定を締結

市では3月26日にハローワーク刈谷、障害者の在宅雇用実績がある株式会社D&Iと、障害者雇用に関する連携協定を締結しました。



ハローワーク刈谷 宮田所長



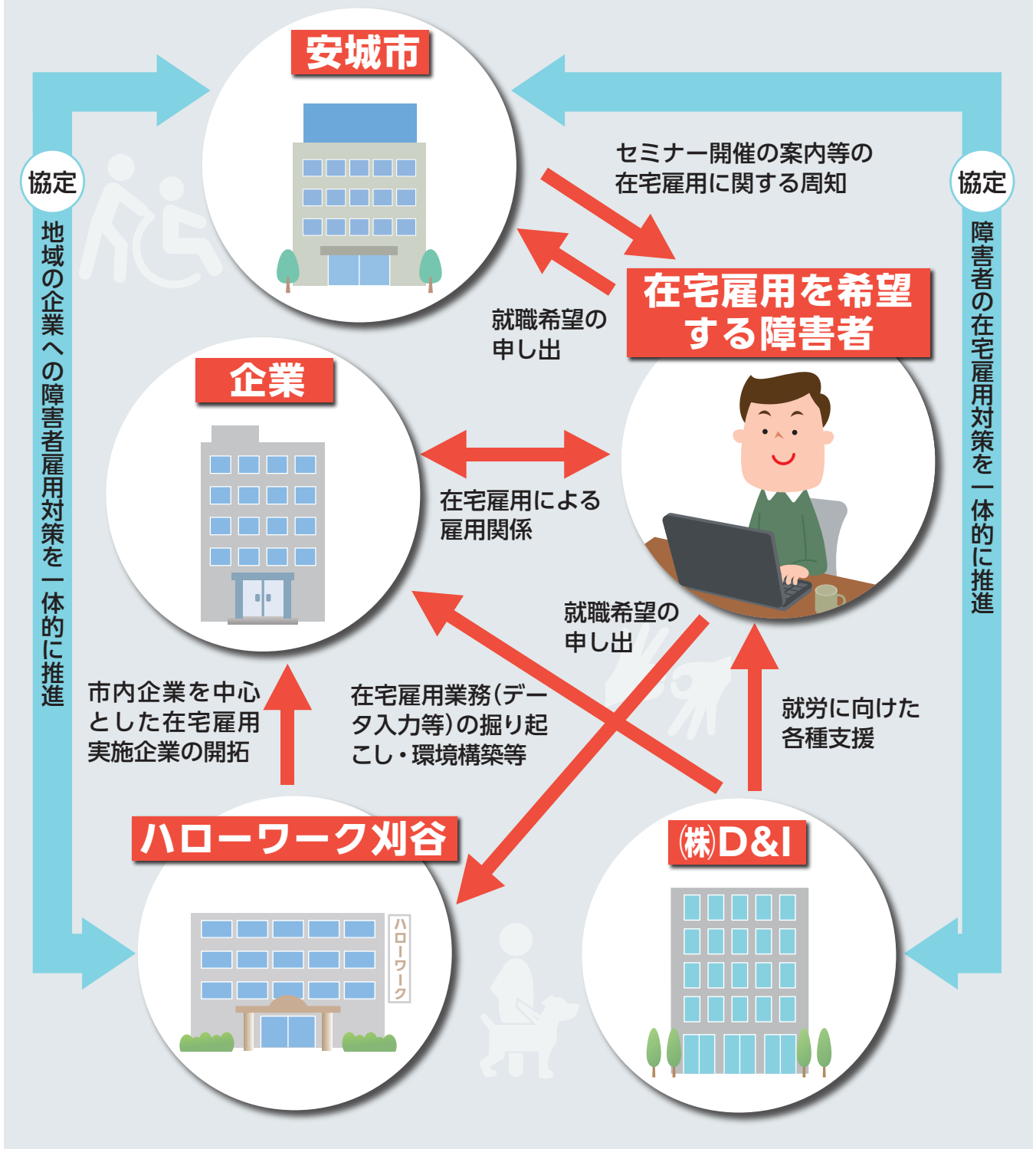
安城市在住の障害のある方が、ご自身の能力を存分に発揮し、生き生きと幸せに働くことができるよう、私達は安城市と協力し、一人でも多くの方を企業へ送り出せるよう取り組んでまいりたいと思っています。

(株)D&I代表取締役 杉本氏

私達は、安城市とともに「テレワーク」という新たな働き方の選択肢を活用し、市内民間企業と障害のある方を結びつける支援を進め、誰もが挑戦できる社会の実現を目指して取り組んでまいりたいと思っています。



障害者の就労支援事業の枠組み



テレワークによる就労支援セミナーを開催します

7月18日(土)にアンフォーレで障害者本人やその家族、地域の支援者を対象に、テレワークについての基本事項や求人内容について説明します。詳細は本紙7月号でお知らせします。

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止又は延期する場合があります。

